

令和4年第3回定例公安委員会会議録

開催日時 令和4年2月3日(木)午後0時30分～午後3時30分

開催場所 警察本部各執務室、西部地区運転免許センター聴聞室(リモート)

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時35分～午後2時35分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 衣笠委員

警察本部 服部警察本部長 川島警務部長 岡山首席監察官
前田生活安全部長 谷村刑事部長 柴田交通部長
加藤警備部長 青木警察学校長 濱口情報通信部長
水谷警務部参事官

(事務局等～山脇公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

- 運転免許更新に係る審査請求の裁決(警務部)
- 公安委員会宛ての苦情に対する回答(警務部)
- 公安委員会宛ての苦情に対する回答(警務部)

(1) 運転免許更新に係る審査請求の裁決(警務部)

警察本部から、運転免許更新に係る審査請求について、本件請求を棄却する旨の裁決案の説明がなされた。

委員

事前に説明を受けており、このとおり決定する。

(2) 公安委員会宛ての苦情に対する回答(警務部)

警察本部から、公安委員会宛ての苦情に対する回答案の説明がなされた。

委員

調査結果について事前に報告を受けており、案のとおりで良い。

(3) 公安委員会宛ての苦情に対する回答（警務部）

警察本部から、公安委員会宛ての苦情に対する回答案の説明がなされた。

委員

調査結果について事前に報告を受けており、この内容で良い。

警察は高圧的だというイメージがあると思うので、引き続き、人権に配慮した対応を行っていただきたい。

委員

警察官は多くの方と接するが、誤解を生むことがないように、丁寧な説明と対応を行っていただきたい。

4 報告事項

- 鳥取県議会令和3年11月定例会の結果（警務部）
- 令和3年における犯罪抑止総合対策の推進状況（生活安全部）
- 令和3年における人身安全関連事案への対応状況（生活安全部）
- 2月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

(1) 鳥取県議会令和3年11月定例会の結果（警務部）

警察本部

令和3年11月定例会の会期は、11月30日から12月21日までであった。

議案は、一般会計補正予算と鳥取県警察手数料条例の一部を改正する条例が可決された。議会の委任による専決処分の報告は、損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について2件の報告を行った。

代表質問は、鳥取県議会自由民主党の鹿島功議員から2点質問があった。

1点目は、「高齢ドライバーの視点に立った交通安全対策」について質問があり、本部長は、「高齢運転者による交通事故の発生抑止のため、高齢者訪問活動による交通安全指導、交通安全教育用機材を活用した参加・体験・実践型の交通安全講習などを実施している。県内の各地区運転免許センターには、看護師等の

資格を有する安全運転相談員を配置し、認知症等の早期発見、運転免許証自主返納の説明など、安全運転相談の充実を図っている。交通安全講習などあらゆる機会を通じて、高齢者へ運転する際の注意点を伝え、高齢者の安全運転と周囲の安心安全を確保していく。」旨を答弁した。

2点目は、「本県における水上警察の現状と課題、今後の取組」について質問があり、本部長は、「海上における警戒警備は海上保安庁が担っており、県警察は、日本海沿岸を管轄する警察署を中心に沿岸パトロールを行っている。テロリストの不法入国事案を未然に防止するためには、水際対策を担う関係機関との連携が極めて重要と考えている。関係機関とのテロ対処訓練などを通じて、引き続き連携を深めるとともに、沿岸パトロールを徹底し、テロリストの不法入国事案の未然防止を図っていく。」旨を答弁した。

一般質問は、鳥取県議会自由民主党の松田正議員から、「自転車乗用中の交通事故におけるヘルメットの着用状況と自転車による交通事故防止に向けた取組」、会派民主の浜田妙子議員から、「信頼される身近な存在である警察の人材育成」及び「警察音楽隊を活用した犯罪被害者支援活動」について質問があり、それぞれ本部長が答弁した。常任委員会では5件の報告を行った。

委員

交通に関する事など、県民にとって身近な質問だと思う。自転車乗用中のヘルメット着用が進まないが、やはり、意識付けが大切だと思う。

委員

答弁のとおり、今後に対応していただきたい。

(2) 令和3年における犯罪抑止総合対策の推進状況（生活安全部）

警察本部

全国の刑法犯認知件数は、平成14年をピークに19年連続して減少している。本県の刑法犯認知件数は、平成15年の9,302件をピークに17年連続で減少していたが、令和3年は、前年より109件増加し、1,923件であった。

なお、鳥取県犯罪のないまちづくり推進計画では、刑法犯認知件数2,000件以下の定着を目標としており、この点については達成した。

自転車盗や車上ねらいなど、県民の身近なところで発生する割合が高い7罪種を重点犯罪としており、刑法犯認知件数のうち、重点犯罪が約6割を占める。このうち、令和3年は前年より、自転車盗が50件、万引きが80件、特殊詐欺が16件増加した。重点犯罪の約7割を自転車盗と万引きで占めている。

令和3年の特殊詐欺の被害状況は、認知件数42件、被害額約8,472万円であり、前年よりも認知件数は16件増加したが、被害額は約313万円減少した。手口は、還付金詐欺が20件、架空料金請求詐欺が17件であり、前年は1

件だった還付金詐欺が急増したこと及び被害者に占める高齢者の割合が50パーセントから74パーセントに増えたことが特徴である。

今後、重点的に3点の取組を行う。1点目は、鍵掛け広報及び万引き防止広報の推進である。令和3年も鍵掛け広報に取り組んでおり、令和3年の自転車盗の無施錠率は、前年の80.3パーセントから73.8パーセントに改善したものの、全国平均よりも高いため、引き続き取組を推進する。万引きは、少年による犯行は減少しているが、高齢者による犯行が増加しているため、対策を講じる。

2点目は、特殊詐欺被害防止対策の推進である。本年は、既に還付金詐欺4件を含む8件の特殊詐欺被害が発生している。特徴として、還付金詐欺の被害者は、いずれも60代の女性である。被害者の中には、特殊詐欺の手口は知っているが、「自分は大丈夫だ。」とっていたり、「詐欺だと思わなかった。」という方もいるので、引き続き広報を継続する。

3点目は、地域の犯罪情勢に応じた効果的な犯罪抑止対策の推進である。令和3年、自転車盗は鳥取署管内、万引きは米子署管内で大幅に増加するなど、地域の特徴があることから、これらを分析し、実効ある対策を推進する。

委員

特殊詐欺の犯人は、携帯電話でかけてくることが多いか。

警察本部

非通知による携帯電話など、様々である。

委員

コロナ禍で社会が不安定な部分もあるので、しっかりと対策を講じていただきたい。

先日、埼玉県で猟銃を使用した殺人事件が発生したが、適切な許可事務を行うことが県民の安全につながるので、引き続き、よろしく願います。

委員

様々な場面で特殊詐欺の被害防止広報を目にするが、被害が減らないということは、県民に周知できていないと思うので、繰り返しの広報が大切である。

自転車の鍵掛け広報は、自転車利用が多い中高生への広報が有効だと思うので、学校とも連携して対応していただきたい。

(3) 令和3年における人身安全関連事案への対応状況（生活安全部）

警察本部

令和3年中におけるストーカー事案の相談件数は、全国的には2.3パーセント減少した。本県の相談件数は、前年より増加した。禁止命令は過去最多であつ

た。これは、事案の危険性や切迫性を判断し、措置を講じた結果であると考えている。検挙は横ばいであった。

DV事案の相談件数は、全国的には0.5パーセント増加し、過去最高であった。本県の相談件数は、前年より減少した。検挙は横ばいであった。

本県の児童虐待事案の認知件数は、前年より減少した。また、通告件数も減少した。本県では、県内全ての児童相談所に警察官が出向し、平素から緊密な連携を図っており、昨年11月19日には、オンラインで合同の研修会も実施した。

人身安全関連事案に対しては、これまでも被害者の安全確保を最優先で対応しており、引き続き迅速かつ的確に対応していく。

委員

全国では、児童虐待により子どもが亡くなるなど、悲惨なニュースが絶えない。人身安全関連事案は、対応が難しい案件もあると思うが、手遅れにならないよう、引き続き、しっかりと対応していただきたい。

委員

児童相談所との連携は非常に重要であるので、より一層強化していただきたい。

(4) 2月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

2月中は、引き続き初任補修科第41期の採用時教養を行う。部門別任用科は2課程入校中であるが、新たに2月から予定していた専科等は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、中止とした。

行事関係は、初任補修科の卒業考査、柔剣道昇段審査等を予定している。

1月31日には、初任科第94期の卒業式を挙行了。この期は、初の女性総代の期であり、本県警察初となる女性による答辞を行った。式は、コロナ禍であるため、入校式と同様に来賓と家族の出席は見合わせたほか、卒業証書授与者との距離をとるなど、感染対策を徹底した。

委員

卒業式のニュースを見たが、非常に頼もしく感じた。各警察署に配属されたので、引き続き組織全体で若手を育てていただきたい。

委員

警察は男性社会のイメージ強いが、初の女性総代という点は、女性活躍推進につながるものだと思う。

コロナ禍の警察学校は、感染対策が非常に大変であったと思うが、予定どおり卒業式を迎えることができ良かった。引き続き感染対策に努めて教養を進めて

いただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・令和3年における人身安全関連事案への対応状況
- ・交通規制の議決（第4号）

4 報告事項

- ・審査請求の受理
- ・人事案件
- ・監察報告

5 決裁

- ・運転免許更新に係る審査請求の裁決
- ・公安委員会宛ての苦情に対する回答2件

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。